



交換しましたか？ 住宅用 火災報知機

住宅用火災報知機の設置後、日頃の点検、動作確認はされていますか？

どうして交換が必要？点検方法は？

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。 **10年を目安に交換**しましょう。

設置時期を調べるには、本体に記載されている「製造年」を参考にしてください。

定期的に作動確認し、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。



※機種により警報音、電池切れの際の反応は異なります。

点検の際は左の図のように、ボタンを押すか、ひもを引いていただくと、正常な場合『ピーピー』または『ピーピー火事です！』『正常です』などの警報音がなります。

鳴らない場合は『電池切れ』『機械の故障』が考えられますので、弊社担当：伊藤まで交換品の手配をお願いいたします。

交換品のご依頼は...



※写真はイメージです

エール価格 取付費込 3,000円 税込

担当 伊藤まで、お気軽にお問い合わせ下さい。